

# 諸法典と条約改正

大日本帝国憲法や諸法典の発布・施行と並行して、政府は条約改正の交渉を続けていた。欧米諸国のうちに好意的な国が現れたものの、イギリスが改正に反対し続ける限り、「最恵国待遇」の効力で改正できなかった。しかし、ロシアの南下政策が東アジアで進むと、危機感を抱いたイギリスは、日本への態度を軟化させた。

## ○ 諸法典の整備

### ● 皇室関係の法典

1889年、<sup>(1)</sup> \_\_\_\_\_ 制定

…大日本帝国憲法と同時に制定された皇室関係の基本法典

…皇位の継承、天皇・皇族に対する犯罪、内乱罪の厳罰化などを規定

◇(1) …民衆が干渉するものではないと公布なし（通常、政府機関紙『官報』で公布）

### ● フランス流の諸法典

政府は、フランス人<sup>(2)</sup> \_\_\_\_\_ が起草した民法・刑法と、

ドイツ人ロエスレルが起草した商法を1880~90年に公布した。

⇒しかし、これらのうち<sup>(3)</sup> \_\_\_\_\_ は、公布以前から一部の法学者に批判されていた。

#### < 民法典論争 >

ポアソナードの民法は、個人主義を重んじ、日本の伝統的な倫理に適さなかった。

⇒民法の公布後、<sup>(4)</sup> \_\_\_\_\_ と呼ばれる論争が本格化し、次の法学者が戦った。

① 反対：<sup>(5)</sup> \_\_\_\_\_ が「<sup>(6)</sup> \_\_\_\_\_」の論文を発表

② 賛成：梅謙次郎



民法は、施行までに数年の周知期間を設けてあり、論争を受けて、

1892年の第三議会で、商法とともに修正前提の施行延期が決まった。

⇒新民法が、1896年・1898年の2回に分けて公布され、1898年に施行された。



以上の結果、新民法では、次のような日本の伝統的な倫理が維持された。

①<sup>(7)</sup> \_\_\_\_\_ …家族に対する<sup>(8)</sup> \_\_\_\_\_ の強い権限（婚姻の同意や居所指定など）

② 家督相続制度…家督相続とは、戸主の地位・財産の継承を指し、普通長男が相続



図1 ポアソナード



図2 穂積八束



図3 梅謙次郎

## ○ 条約改正交渉の決着

### ● 条約改正④

井上馨の後任の外相<sup>(9)</sup> \_\_\_\_\_ は、条約改正に好意的な国から個別に交渉した。

→アメリカ・ドイツ・ロシアとの間に、改正条約を調印した。

⇒しかし、最高裁判所に相当する<sup>(10)</sup> \_\_\_\_\_ に限り、外国人判事の任用を認めたため、激しい反対運動が起こった。



1889年、(9) が対外硬派の団体玄洋社の青年 くるしまつねき 島恒喜に負傷させられた。

⇒(9) の負傷で、条約改正交渉は中断された。



図4 大隈重信

## ●ロシアの南下政策と日英の対応

19世紀後半、ロシアは不凍港<sup>ふとうこう</sup>を求め、東アジアでの南下を進めた。  
→1891年、ロシアがシベリア鉄道敷設に着工すると、  
イギリスはロシアへの警戒を一気に強めた。  
⇒ロシアがさらに不凍港を求め、<sup>(11)</sup> \_\_\_\_\_ 半島に南下を進めると、  
日本もいずれ危機に陥ると懸念された。

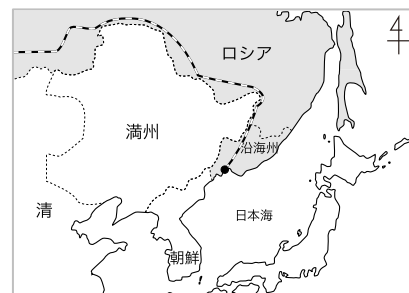


図5 19世紀後半の東アジア

### <イギリスの対応—日本への接近>

イギリスは、日本に好意を示し、ロシアへ抵抗する味方にしようとした。  
⇒条約改正に最も反対するイギリスが方針を変え、交渉に好機が到来した。



図6 シベリア鉄道の敷設

### <日本の対応—朝鮮への期待>

日本は、朝鮮の文明化とそれによる同国・自国の安全を望んだ。  
⇒しかし、朝鮮は<sup>(12)</sup> \_\_\_\_\_ を宗主国とし続け、旧態依然としていた。

## ●条約改正⑤

1891年、外相<sup>(13)</sup> \_\_\_\_\_ は、イギリスの態度軟化を見て、  
イギリスと領事裁判権の撤廃を交渉し始めた。



1891年、<sup>(14)</sup> \_\_\_\_\_  
…訪日中のロシア皇太子ニコライ（後のニコライ2世）が、  
訪日を侵略のための調査と考えた巡査津田三蔵<sup>さんぞう</sup>に切りつけられた事件  
…ロシアとの関係悪化を恐れる日本政府は、津田三蔵の死刑を要請したが、  
大審院長<sup>(15)</sup> \_\_\_\_\_ が要請に反対して「司法権の独立」を遵守



事件は、政府の陳謝で収拾したが、<sup>(13)</sup> の引責辞任で交渉は中止された。



図7 青木周蔵



図8 人力車に乗るニコライ

## ●条約改正⑥と領事裁判権の撤廃

1894年、外相<sup>(16)</sup> \_\_\_\_\_ は、条約の一部改正という条件で交渉した。  
→対外硬派連合は、条約の一部のみの改正を許さず、全面改正を主張した。  
⇒<sup>(16)</sup> は、自由党の支持によって反対派の声を抑えた。



1894年、<sup>(17)</sup> \_\_\_\_\_ 調印  
…日清戦争の直前、日本とイギリス間で結ばれた改正条約  
…①<sup>(18)</sup> \_\_\_\_\_ の撤廃  
②<sup>(19)</sup> \_\_\_\_\_ の一部回復  
③相互対等の<sup>(20)</sup> \_\_\_\_\_  
…1897年までに、他の欧米諸国とも同様の改正条約を調印



図9 陸奥宗光

## ●条約改正⑦と関税自主権の回復

1911年、外相<sup>(21)</sup> \_\_\_\_\_ は、<sup>(22)</sup> \_\_\_\_\_ の完全回復を達成した。  
⇒日本は、欧米諸国と条約上での対等の地位をようやく獲得した。



図10 小村寿太郎